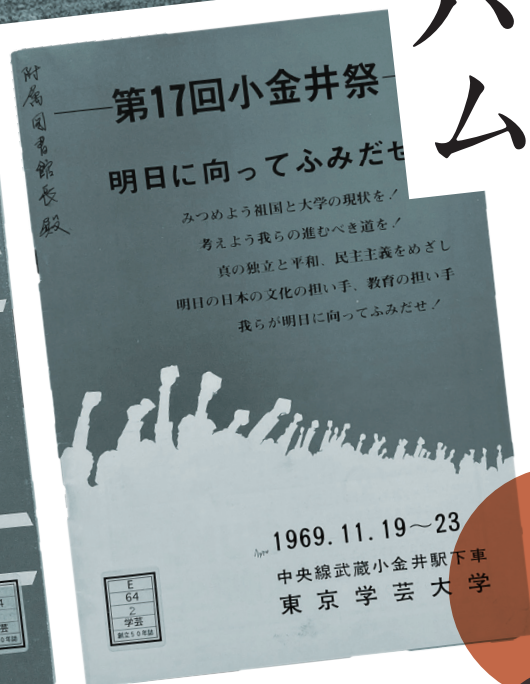
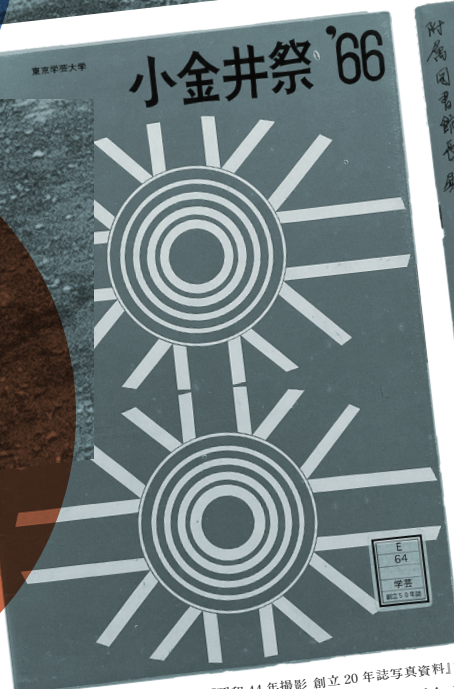


Gakugei
Album
2022
Autumn



東京学芸大学
のあゆみ
学藝アルバム



- 写真上:『武蔵野マラソン』(『昭和44年撮影 創立20年誌写真資料』1969年)
- 写真下・左:『第14回 小金井祭プログラム』(小金井祭実行委員会、1966年11月)
- 写真下・右:『第17回 小金井祭プログラム』(東京学芸大学学生自治会 小金井祭実行委員会、1969年11月)

大学での学びと学生生活

【会期】2022年10月17日(月)～12月23日(金)

【時間】[平日] 10:00～16:00

【場所】東京学芸大学附属図書館3階 大学史資料室

【問合せ先】東京学芸大学大学史資料室 [電話] 042-329-7277

[メールアドレス] shiryou@u-gakugei.ac.jp



東京学芸大学
大学史資料室
Office of Tokyo Gakugei Univ. Archives



新たな大学史資料室常設展示によせて

東京学芸大学大学史資料室は、附属図書館の増築完成に伴い、2021年度新しく図書館3階に事務室と閲覧室を開設しました。これを機に、大学史資料室では、毎年実施してきた展示会に代えて、常設展示を行っていくこととしました。これは、東京学芸大学大学史資料室の設立から10年を迎えるなかでの新しい試みです。私たちは、大学史資料室の機能をよりいっそう高め、新たな地平を切り拓くにふさわしい常設展を創り上げていきたいと考えています。

大学史資料室は、本学の運営及び教育研究等に関する重要な資料、また本学の歴史に関する重要な資料をそれぞれ調査・収集し、その資料の整理、保存及び公開を行うことを任務として出発しました。これは、わが国の教員養成の中核をなしてきた本学の位置を鑑みれば、明治期以来の日本の教員養成の歩んできた歴史の資料を調査・収集し、それを保存・公開していくことと重なります。その意味で、常設展示の実現は、整理・保存してきた資料を継続的かつ安定的に公開する機会を用意できたものであり、その意義は非常に大きいといえます。

この新たな常設展示は、年間テーマを設定し、1年間で4～6月、7～9月、10～12月の三期に分けて展示内容を換えていきます。そしてこれを2年サイクルで回し、1年目のテーマは「師範学校の歴史をふり返る」、2年目は「東京学芸大学のあゆみ」とし、戦前から戦後の本学と教員養成の歴史を辿ります。

今年度第三期は10月17日から展示を開始し、今回のタイトルは「大学での学びと学生生活」です。この展示では、1964年の大学の小金井への統合前後の1960～70年代を中心に、大学においてどのような学び・教育が行われ、学生たちはどのような生活を送っていたのかについて、当時のカリキュラムの変遷などの資料や、学生生活、大学行事の様子などの写真画像から紐解いています。展示資料は、『東京学芸大学カリキュラム』のほか、学寮で発行していた文集や弓道部・書道部の部誌、開学祭や小金井祭のパンフレット、1960年代の授業の様子や武蔵野マラソン、スキー実習など大学行事の写真など多岐に亘ります。

2023年東京学芸大学は、1873年に東京府小学教則講習所として設立されてから150年目の「創基150周年」を迎えます。

新型コロナウイルス感染症の影響がまだ予断を許さない状況ではありますが、私たちは小さくとも確実な歩みを止めることなく、一步一步未来に向けて歩んでいきます。この世界的な危機が乗り越えられたとき、常設展示に映し出される東京学芸大学とそこで学ぶ学生の歩みが大きく前進していることを願っています。

Gakugei
Album
2022
Autumn

東京学芸大学のあゆみ
學藝アルバム



●写真上：「授業風景(デッサン)」(昭和44年撮影 創立20年誌写真資料)1969年)

2022年10月17日

東京学芸大学大学史資料室長
副学長・附属図書館長

川手 圭一

東京学芸大学大学史資料室常設展示

